

海外短信



～アメリカ～

「アメリカの今年の冬」

日本板硝子株式会社  
 (Pilkington North America, Inc)

1月のお正月明け、アメリカは20年ぶりとも言われる記録的な寒波に見舞われました。

アメリカ中西部から東部の広い範囲で気温が大きく低下し、ミネソタ州エンバラスでは摂氏マイナス37度、観光地として有名なニューヨークのセントラルパークでも過去最低の摂氏マイナス16度を記録しました。

池は完全に凍り、日常生活にも支障が出る寒さでした



そんな中で車社会のアメリカでは、道路も凍結してしまうために日本のように皆、やむを得ずタイヤにチェーンを巻いたり、スタッドレスタイヤをはいているのかと思うと、決してそうではありません。

通常タイヤで走行しています。

理由は、雪になると一斉に除雪車が出動し、融冰雪剤として塩がまかれ、道路の凍結を未然に防止する対応がとられているからです。



しかし、住宅街など、融氷雪剤が行き届かない場所もあるため、やはり雪の中での運転には十分に気をつける必要があります。

寒波のピーク時には、小中学等の学校は休校となりました。

一部のカーメーカーもライン停止を余儀なくされ、生産にも大きな支障が出ました。

まだまだ寒い冬、雪のシーズンは続きます。今後も安全第一で業務に当たります。